

記載例

様式第1号

登録の物的要件として
示されている名称で記入

設 備 ・ 機 器 名 簿

申請日に合わせる
和暦で記入

年 月 日現在

名 称	型 式	数 量	購入年月日
揚水ポンプ	〇〇製作所(株)製 AA-1型	2	平成20年4月1日
高圧洗浄機	〇〇(株)製 BB-2型	4	平成20年4月1日
残水処理機	〇〇工業(株)製 CC-3型	2	平成20年4月1日
換気ファン	〇〇製作所(株)製 DD-4型	2	平成20年4月1日
防水型照明器具	〇〇(株)製 EE型	1	平成20年4月1日
色度計、濁度計	〇〇科学(株)製 FF型	1	平成20年4月1日
残留塩素測定器	〇〇科学(株)製 GG型	1	平成20年4月1日

メーカー、型式、
機種番号等を記入
※同一名称であって
も型式が異なる場合
はそちらも記入

リース品について

- ・ 自社所有品だけでなくリース品も記入
- ・ 購入年月日の代わりに借用年月日を記載
- ・ 借用に係る契約書のコピーを添付

様式第 2 号

監 督 者 等 名 簿

申請日に合わせる
和暦で記入

年 月 日現在

監督者、実施者等の別 (注 1)	氏 名	業務範囲 (注 2)	経験年数	資 格 の 種 別 (注 3)	資格取得年月日
貯水槽清掃作業監督者	中央一郎	貯水槽清掃作業 指揮監督	5 年	貯水槽清掃作業監督者再講習 会修了証書 (貯再第11111号)	平成 2 3 年 4 月 1 日
貯水槽清掃作業監督者	稲毛二郎	貯水槽清掃作業 全般	3 年	貯水槽清掃作業監督者講習会 修了証書 (貯第22222号)	平成 2 2 年 1 0 月 1 日
講習会修了証書等資格を証明する書面の 原本とコピー 1 部を添付 ※原本は確認後お返しします。					

(注 1) 清掃業の場合は清掃作業監督者、空気環境測定業の場合は空気環境測定実施者、空気調和用ダクト清掃業の場合はダクト清掃作業監督者、飲料水水質検査業の場合は水質検査実施者、飲料水貯水槽清掃業の場合は貯水槽清掃作業監督者、排水管清掃作業の場合は排水管清掃作業監督者、ねずみ昆虫等防除作業の場合は防除作業監督者、建築物環境衛生総合管理業の場合は統括管理者、清掃作業監督者、空調給排水管理監督者及び空気環境測定実施者について記入する。

(注 2) 監督者等が複数いる場合には、それぞれの業務分担を記入する。

(注 3) ○○講習会修了、建築物環境衛生管理技術者等と記入する。

研修実施状況

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

申請日に合わせる
和暦で記入

年 月 日現在

研修の期日	研修の内容	指導員の氏名及び資格	対象従業員数	参加従業員数
平成28年8月4日	1. 貯水槽清掃の目的 (1時間) 2. 貯水槽設備概論 (1時間) 3. 貯水槽の清掃方法 (1.5時間) 4. 貯水槽の消毒方法 (1.5時間) 5. 貯水槽清掃の安全と衛生 (2時間) 合計7時間	中央一郎 (貯水槽清掃作業監督者)	5名	5名 環境 太郎 保健 所朗 登録 一郎 貯水 花子 衛生 環太
研修実施日が複数ある場合は研修日ごと ・研修内容 ・指導員名 ・参加者名 を記入 ・研修科目ごとに研修内容と時間を記入 ・使用したテキストがあればテキスト名記入 ・営業所内研修の場合：記入不要 ・指定団体の研修を受けた場合：指定団体が発行した修了証書の写しを添付				
指定団体の証明欄	上記の研修については本団体の指導により行われた（行われる）ものである。 年 月 日 （指定団体名） (代表者名 印)			

様式第3号の2

研修実施計画

申請日に合わせる
和暦で記入
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)
年 月 日現在

研修の期日	研修の内容	指導員の氏名及び資格	対象従業員数
平成29年8月4日	1. 貯水槽清掃の目的 (1時間) 2. 貯水槽設備概論 (1時間) 3. 貯水槽の清掃方法 (1.5時間) 4. 貯水槽の消毒方法 (1.5時間) 5. 貯水槽清掃の安全と衛生 (2時間) 合計7時間	中央一郎 (貯水槽清掃作業監督者)	5名
研修計画日が複数ある 場合は研修日ごと ・研修内容 ・指導員名 ・参加者名 を記入 様式第4の1の作業班編成の 内容と矛盾が無いよう記入 ・研修科目ごとに研修内容と時間を記入 ・全従業員に対して、合計7時間以上の研修時間を確保 ・清掃、ダクト清掃、貯水槽清掃、排水管清掃、防除のこれら作業従事者のカリキュラムについては厚生労働省健康局生活衛生課長通知（平成25年1月21日健衛発0121第1号）を参考 ・使用したテキストがあればテキスト名記入			

様式第4号の1

作業実施方法（その1）

申請日に合わせる
和暦で記入

年 月 日現在

	作業班	監督者等	使用する機械器具
作業班編成	1班 3名	中央一郎	揚水ポンプ2台、高圧洗浄機1台、残水処理機1台、換気ファン2台、防水型照明器具2台、色度計、濁度計1台、残留塩素測定器1台
	2班 2名	同上	同上
			様式第1号の設備・機器名簿の内容と矛盾が無いよう記入
作業手順等	別紙のとおり ・ 自社マニュアル等の添付でも可。 ・ 「建築物における衛生的環境の維持管理について」（平成20年1月25日付厚生労働省健康局長通知）の通知にある「建築物環境衛生維持管理要領」（平成26年3月31日健発0331第30号）及び「清掃作業及び清掃用機械器具の維持管理の方法等に係る基準」（平成14年3月26日付厚生労働省告示第117号）に記載されている内容が含まれているか事前に確認してください。		

作業実施方法（その2）

申請日に合わせる
和暦で記入

年 月 日現在

業務を委託する際の手順及び委託した業務の実施状況の把握方法

(1) 業務委託を行う場合：

- ・委託先の名称、委託する業務の範囲、委託期間等を、どのように建築物のオーナー等（建築物維持管理権原者）に通知しているか。
- ・委託先の業務が「清掃作業及び清掃用機械器具の維持管理の方法等に係る基準」（平成14年3月26日付厚生労働省告示第117号）に記載されている内容を満たしていることをどのように把握しているか。
- ・機械器具等の点検の業務委託があればその方法について記入

(2) 業務委託を行わない場合：

- ・「業務委託なし」と記入

苦情及び緊急の連絡に対する体制

- (1) 建築物維持管理権原者又は建築物環境衛生管理技術者からの、苦情及び緊急の連絡に対して夜間も含めて迅速に対応するための連絡体制を具体的に記入。
- (2) 業務委託している場合、緊急の連絡が元請業者にあったときに委託先に連絡が迅速に対応できる体制を記入。
- (3) 緊急連絡網の記入でも可。

例：苦情者・緊急連絡担当者→営業所担当者→監督者および現場担当者→緊急対応→報告

様式第4号の1 作業手順等

別紙

登録業種毎の作業手順記載事項

登録業種	記載事項
建築物清掃業	(1) 作業工程（日常清掃を行わない箇所についての定期点検に関する事項を含む。） ・①事前打ち合わせ、②準備、③清掃作業、④事後作業、⑤報告等の手順ごとに具体的に記述してください。 (2) 機械器具等の点検の方法 ・真空掃除機、床みがき器は定期に点検し、所定の効果・能力があることをチェックする旨の記述をしてください。 ・その他の清掃器具並びに保管庫について定期に点検し、必要に応じ整備、取り替えを行う旨の記述をしてください。 ・異常が認められた場合修理を行い、その記録を残しておくことの記述をしてください。 (3) 清掃作業に伴って排出されるごみや清掃作業によって生じる排水の処理方法を記述してください。 (4) 作業報告作成の手順 ・清掃作業報告書を2部作成し、1部をオーナーに提出し、1部を自社で5年間保存する旨、明記してください。

建築物空気環境測定業

(1) 空気環境の測定方法

- ・ ①事前打ち合わせ、②準備、③測定作業、④報告等の手順ごとに具体的に記述をしてください。

(2) 測定器の点検、校正等の方法並びにこれらの記録の保管方法

- ・ 浮遊粉じん測定器は年1回校正し、その記録を保管しておく旨の記述をしてください。
- ・ その他の機械器具は定期及び作業前に点検し、所定の効果・能力があることをチェックする旨の記述をしてください。
- ・ 使用する測定器について定期的に点検し、測定器ごとに整理して保管する旨の記述をしてください。
- ・ 異常が認められた場合修理を行い、その記録を残しておく旨の記述をしてください。

(3) 測定結果報告作成の手順並びに測定結果の保存方法及び保存責任者の氏名

- ・ 作業報告書を2部作成し、1部をオーナーに提出し、1部を自社で5年間保存する旨、明記してください。

建築物空気調和ダクト清掃業

(1) 作業工程（ダクト清掃の効果の確認方法に関する事項を含む。）

・①事前打ち合わせ、②準備、③ダクト停止、④集塵ユニットの設置、⑤点検、⑥運転再開、⑦報告等の手順ごとに具体的に記述してください。

(2) 機械器具等の点検の方法

・電子てんびん、化学てんびんは年1回較正し、その方法の記述をしてください。

・その他の機械器具は定期及び作業前に点検し、所定の効果・能力があることをチェックする旨の記述をしてください。

・異常が認められた場合修理を行い、その記録を残しておく旨の記述をしてください。

(3) ダクト清掃に伴って排出されるごみの処理方法について記述してください。

(4) 作業報告作成の手順

・ダクト清掃作業報告書を2部作成し、1部をオーナーに提出し、1部を自社で5年間保存する旨、明記してください。

建築物飲料水水質
検査業

- (1) 水質検査の方法（試料の採水及び保存に関する事項を含む。）
 - ・ 試料の採水及び保存に関する方法についても記述してください。
- (2) 試薬及び標準物質の保存方法
 - ・ 水質検査に用いる試薬、標準物質は施錠できる保管庫等に保管する旨の記述をしてください。
 - ・ 保存方法、有効期限が設定されている試薬、標準物質はその保存方法有効期限を遵守する旨の記述をしてください。
- (3) 検査室の整理及び清掃の方法並びに管理責任者の氏名
 - ・ 管理責任者を決め、その氏名を記載してください。
 - ・ 検査室の整理及び清掃の方法について具体的に記述してください。
- (4) 機械器具の点検等の方法並びにこれらの記録の保存方法
 - ・ 水質検査に用いる機械器具は定期的に点検し、所定の効果・能力があることをチェックする旨の記述をしてください。
 - ・ 機械器具ごとに点検方法をきちんと定め、点検の記録は測定器ごとに整理して保管してある旨の記述をしてください。
 - ・ 異常が認められた場合修理を行い、その記録を残しておく旨の記述をしてください。
- (5) 測定結果報告作成の手順並びに測定結果の保存方法及び保存責任者の氏名
 - ・ 水質検査報告書を2部作成し、1部をオーナーに提出し、1部を自社で5年間保存する旨、明記してください。
 - ・ 測定結果の保存方法を記述してください。
 - ・ 保存責任者を決め、その氏名を記載してください。

建築物飲料水貯水槽清掃業

- (1) 作業工程（貯水槽清掃後における貯水槽の水等の検査方法に関する事項を含む。）
- ・①事前打ち合わせ、②準備、③清掃作業、④事後作業、⑤水質検査、⑥報告等の手順ごとに具体的に記述してください。
- (2) 使用する塩素剤の名称及び使用方法
- ・具体的に記述してください。
- (3) 機械器具の洗浄、作業衣等の消毒の方法
- ・具体的に記述してください。
- (4) 機械器具等の点検の方法
- ・使用する機械器具は定期的に点検し、所定の効果・能力があることをチェックする旨の記述をしてください。
 - ・異常が認められた場合修理を行い、その記録を残しておく旨の記述をしてください。
- (5) 水槽内に称する機器、管類の塗装に使用する塗料を使用する場合の記載
- ・塗料はJWWA（日本水道協会規格）の規格品（二液性溶剤型エポキシ樹脂塗料）を使用することを明記してください。
- (6) 保管庫の管理責任者の氏名
- ・管理責任者を決めその氏名を記載してください。
- (7) 従事者の検便等の時期及び検査機関
- ・具体的に記述してください。
- (8) 作業報告作成の手順
- ・貯水槽清掃作業報告書を2部作成し、1部をオーナーに提出し、1部を自社で5年間保存する旨、明記してください。

建築物排水管清掃
業

(1) 作業工程（排水管清掃の効果の確認方法に関する事項を含む。）

・ ①事前打ち合わせ、②準備、③排水管の系統の確認、④洗浄作業、⑤効果の確認、⑥点検、⑦周囲の清掃、⑧報告等の手順ごとに具体的に記述してください。

(2) 機械器具等の点検の方法

・ 使用する機械器具は定期的に点検し、所定の効果・能力があることをチェックする旨の記述をしてください。

・ 異常が認められた場合修理を行い、その記録を残しておく旨の記述をしてください。

(3) 保管庫の管理責任者の氏名

・ 管理責任者を決めその氏名を記載してください。

(4) 作業報告作成の手順

・ 排水管清掃作業報告書を2部作成し、1部をオーナーに提出し、1部を自社で5年間保存する旨、明記してください。

建築物ねずみ昆虫
等防除業

(1) 作業工程（事前調査及び事後調査の方法に関する事項を含む。）

・①事前調査、②打ち合わせ、③準備、④防除作業、⑤作業後の措置、⑥事後調査、⑦報告等の手順ごとに具体的に記述してください。

(2) 使用する薬剤の種類

・具体的に記述してください。

(3) 薬剤の保管方法

・施錠できる保管庫等に保管する旨の記述をしてください。

(4) 機械器具等の点検の方法

・機械器具は定期的および作業前に点検し、所定の効果・能力があることをチェックする旨の記述をしてください。

・異常が認められた場合修理を行い、その記録を残しておく旨の記述をしてください。

(5) 保管庫の管理責任者の氏名

・管理責任者を決めその氏名を記載してください。

(6) 作業報告作成の手順

・防除作業報告書を2部作成し、1部をオーナーに提出し、1部を自社で5年間保存する旨を明記してください。

建築物環境衛生総合管理業

(1) 空気環境の調整、給水及び排水の管理並びに飲料水の水質検査の方法

・ ①空気環境の調整方法、②給水の管理の方法、③排水の管理の方法、④水質検査の方法等作業内容ごとに記述してください。

① 空気環境の調整方法

- ・ 空気清浄装置、冷却加熱装置、加湿減湿装置の維持管理について記述してください。
- ・ ダクトの清掃、補修について記述してください。
- ・ 送風機及び排風機について、定期的に送風量又は排風量の測定及び作動状況を点検する方法について記述してください。
- ・ 冷却塔の点検方法について記述してください。

② 給水の管理の方法（雑用水を含む）

- ・ 貯水槽（雑用水槽）の水抜管、オーバーフロー管、通気管の排水口空間、防虫網、ボールタップ、フロートスイッチ、電極式制御装置、満減水警報装置、フート弁、塩素滅菌機の点検方法について記述してください。
- ・ 給水ポンプの揚水量及び作動状況の点検方法、給水系統の配管の点検方法について記述してください。

③ 排水の管理の方法

- ・ 排水槽、阻集器、排水管、通気管、フロートスイッチ、電極式制御装置、満減水警報装置、フート弁、排水ポンプの点検方法について記述してください。

④ 水質検査の方法

- ・ 給水栓における飲料水に含まれる遊離残留塩素の検査を7日に一回以上、定期に行うとともに、給水栓における飲料水の水の色、濁り、味及びその他の状態に異常がないことを随時確認する旨の記述をしてください。

(2) 作業報告作成の手順

- ・ 作業報告書を2部作成し、1部をオーナーに提出し、1部を自社で5年間保存する旨、明記してください。